

第 40 回

奈良透析学術総会が

2月7日(日)にホテル日航奈良

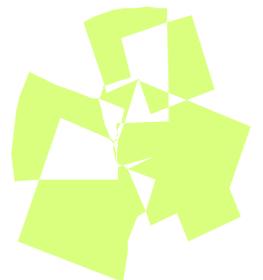
にて開催されます。

当院からは、

透析医長 赤澤 愛 医師、

西 秀人 看護師 が学術発表を

致しますのでご紹介します。



「奈良県医師会透析部会」

第 40 回奈良透析学術総会

プログラム 予稿集

平成 28 年 2 月 7 日(日) 11 時 00 分開始

ホテル日航奈良

第 1 会場：飛天 A B

第 2 会場：飛天 C D

奈良市三条本町 8 - 1

TEL 0742-35-8831

会 長

奈良県立医科大学 泌尿器科 透析部

吉田 克法

第 40 回奈良透析学術総会・一般演題抄録

領域（臨床研究）

ダルベポエチン週末投与の有用性

医療法人 康仁会 西の京病院 内科¹ 臨床工学部²

プラザ透析センター³ 透析センター⁴

赤澤 愛¹ 吉岡 伸夫¹ 武井 誠¹ 奥田 憲太郎¹ 小泉 和昭¹

田宮 正章¹ 野口 幸² 渡邊 美智子³ 青木 昭美⁴ 高比 康臣¹

【背景】ダルベポエチン(ネスプ)は、HD で約 20%、HDF で約 30%除去されるという報告がある。

【目的】週初めに投与しているネスプを週末に変更し、ネスプ投与量削減効果を検討した。

【方法】当院に外来通院中の安定した HD 患者 96 名(男性 69 名、女性 27 名、平均年齢 65.3 歳、平均透析歴 93 ヶ月)に、ネスプを週 1 回、週初め(月、火)から、週末投与(金、土)へ変更した。変更前と変更後 1、2、3 カ月の Hb、週あたりのネスプ投与量を比較した。腎性貧血治療は JSDT ガイドラインに沿って行った。

【結果】変更前平均 Hb は 11.27g/dL、1 か月後 11.38g/dL、2 か月後 11.26g/dL、3 か月後 11.16g/dL となり有意差はなかった。週あたりのネスプ平均投与量は変更前 20.1 μ g、1 か月後 19.3 μ g、2 か月後 18.5 μ g、3 か月後 18.5 μ g となり有意差はないものの、減少傾向がみられた。

【結語】ネスプ週末投与は、ネスプ投与量削減効果がみられると考えられた。

(Key words) 透析 ダルベポエチン 週末投与

(代表連絡者) 赤澤 愛 (アカザワ アイ、職種 ; D 医師)

(所属住所) 奈良市六条町 102-1

(電話) 0742-35-1121

(FAX) 0742-35-1160

(E-mail) ai_love_slk@hotmail.com

(第40回奈良透析学術総会・一般演題抄録)

領域 (その他)

穿刺時フローチャートを使用しての効果

康仁会 西の京病院 プラザ透析センター

○西秀人 (N), 中川実保, 小西貴久, 薩摩大士, 西山晋輔, 高藤節子, 渡邊美智子

【目的】血液透析における穿刺は、スタッフの習熟度を高め安全に穿刺することが望ましく、患者も熟練したスタッフを好む。そのため穿刺ミスがあった場合は、患者・スタッフともにストレスを強く感じてしまう。そこで、穿刺時フローチャートを使用し、穿刺ミスの減少とスタッフのストレスの軽減につながったか評価したので報告する。

【対象・方法】当院の血液透析患者 97 名のSTS (シャントトラブルスコアリング) 評価と、4 か月間の穿刺ミスの回数と原因を調査し、穿刺時フローチャート使用後に、スタッフのストレス度を 5 段階で評価した。

【結果】穿刺ミス回数は、月平均 34 件 (月述べ平均 1285 回中)、1 日平均 1.3 件であった。スタッフへのアンケート調査から、「以前に穿刺ミスをした」19 名中 15 名、「難しい血管への穿刺」19 名中 14 名と穿刺時のストレスが高いことがわかった。穿刺時フローチャートを使用した 11 名の穿刺ミス件数は、平均 8.3 から 4.0 と減少した。スタッフのストレス度は、平均 4.2 から 2.7 まで軽減した。

【結語】穿刺時フローチャートは、スタッフの穿刺時のストレスが緩和され穿刺ミスの減少につながったと考える。

(Key Words) 穿刺ミス、穿刺ストレス、穿刺時フローチャート

(代表連絡者) 西 秀人 (にし ひでと)

(所属住所) 奈良県奈良市七条町 95-1

(電話) 0742-35-7680

(ファックス) 0742-35-7684

(E-mail) p_touseki@nishinokyo.or.jp